

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三井造船株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 104-8439 東京都中央区築地五丁目6番4号
----	-------------------------	----	--

本票作成 部署名：玉野事業所 総務部施設グループ

主たる業種	分類コード	31	業種名：輸送用機械器具製造業
-------	-------	----	----------------

事業の概要 船舶製造修理・船用機関製造
2015年度売上高：24,352百万円、従業員数：4,140人

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	玉野事業所	岡山県玉野市玉三丁目1番1号

特定事業者の該当要件 ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 ③CO₂換算3,000t以上
(●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	49,700 t CO ₂	52,079 t CO ₂	47,215 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27)年度排出量
	①	玉野事業所	52,079 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(27)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 3.4 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 49,700 t CO ₂ /2.4028百億円(作業高)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(27)年度	目標年度
		20,684.000 t CO ₂ /百億円)	21,385.000 t CO ₂ /百億円)	19,650.000 t CO ₂ /百億円)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成27年度の温室効果ガス排出量は、基準年度(平成26年度)に比べ増加しましたが、作業高は排出量に比例せず微増に留まったため原単位あたりの排出量が増加しました。温室効果ガスの増加理由は、LNGを燃料とする発電設備の燃料使用量が増えたことなどが考えられます。

【推進体制】

1. 2000年10月に取得したISO14001に基づき事業所長をトップとした環境管理体制を確立。
2. 省エネ法に基づきエネルギー管理統括責任者を中心としてエネルギー管理標準を策定して全所で運用。
3. 全所で電力調整会議を毎月定例開催して生産調整をし電力使用量の平準化を実施。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
玉野事業所	<p>(平成27年度実施分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存電気溶接機を省エネ型溶接機に代替 (35台/年) 2. 操業度増減に伴い過大な変圧器を切り離し無負荷損失の防止をする。 3. 溶解炉等の特定大型電気設備の運転調整により使用電力の平準化をする。 <p>事務所照明設備のインバーター式蛍光灯への代替 (50台/年)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. エアコンプレッサーの代替をする。 6. 新設工場建設でLED天井灯を採用 (52灯) 7. 老朽した潤滑油清浄機を最新機に代替しフラッシング時間を短縮する。 <p>(今後実施予定分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 既存電気溶接機を省エネ型溶接機に代替 (35台/年) 2. 操業度増減に伴い過大な変圧器を切り離し無負荷損失の防止をする。 3. 溶解炉等の特定大型電気設備の運転調整により使用電力の平準化をする。 <p>事務所照明設備のインバーター式蛍光灯への代替 (50台/年)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. エアコンプレッサーの代替をする。 6. 新設工場建設でLED天井灯を採用 (52灯) 7. 老朽した潤滑油清浄機を最新機に代替しフラッシング時間を短縮する。 8. 平成28年度電気使用量は、前年度比5%削減を目標に掲げ削減計画の目標達成に向けて更なる施策を検討し実施します。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

1. 冷暖房設備の使用電力低減のためクールビズ (5～10月)・ウォームビズ (11～4月)運動を実施している。
2. 事業所構内へ入場する全車両に対してアイドリングストップ等の啓発ビラ配布等の実施をしている。
3. 老朽社有車の代替時に低燃費・低公害車への代替検討及び実施をしている。
4. 休日・夜間等における局所的な使用電力の対応に小型発電機を有効利用している。
5. 受注船舶等への省エネ機器の搭載を客先へ提言・実施している。
6. 原動機部門における省エネ及びNOx・SOx低減エンジン技術の開発を継続実施している。
7. 自家発電設備3基の内、重油仕様の2基を休止しLNG仕様のガスタービン1基のみを稼働させている。
8. 事業所内に太陽光発電設備 (2MW) を2013年に設置し、CO2削減及び再生可能エネルギーによるグリーン電源の拡充を図っている。